

大人の仲間入りを祝う町成人式が、8月15日(水)パルナスで行われ、78人の新成人が出席し、関係者や中学校恩師が門出を祝いました。

式典では、古川政昭教育委員長が「今日のよき日を節目に、自分の果たす役割、すべきことをしっかり考えてほしい」と式辞を述べ、最後に新成人を代表して田中侘奈さんが「震災で人と人とのつながりの大切さを強く感じた。多くのお出合いを大切に、人間として成長していきたい」と誓いの言葉を述べました。

第2部では、恩師のビデオレターが紹介されたあと、津軽半島観光アテンダントの大川さんと竹内さんが登場。「成人の主張」コーナーや、町の魅力を伝えるマジカルバナナなどを行って楽しみ、新成人を祝福していました。



ドイツの交流団が日本文化を体験

日独スポーツ
少年団同時交流



日本とドイツのスポーツ少年団同士の交流を図ろうと行われる全国一斉の事業が、8月4日(土)～8日(水)小泊地域で行われ、ドイツの団員7人と団長団3人、通訳2人がやってきました。

初日に漁火センターで歓迎レセプション、次の日に受け入れたホストファミリーと終日行動したドイツ団一行。五所川原市の立佞武多を見に行ったり、海に行ったりなどし、楽しんだようでした。

6～7日の2日間は、本

格的な交流プログラムを実施。6日(月)は中里高校生とともに、そば打ちの体験やディスカッションのほか、地元の子どもたちと剣道での交流を行いました。また7日(火)は、小泊権現太鼓の体験やアロマセラピーなどで、ドイツ団員も大いに楽しんだようでした。

多彩なプログラムで交流した一行は、8日(水)にホストファミリーなどに見送られ、町をあとにしました。

